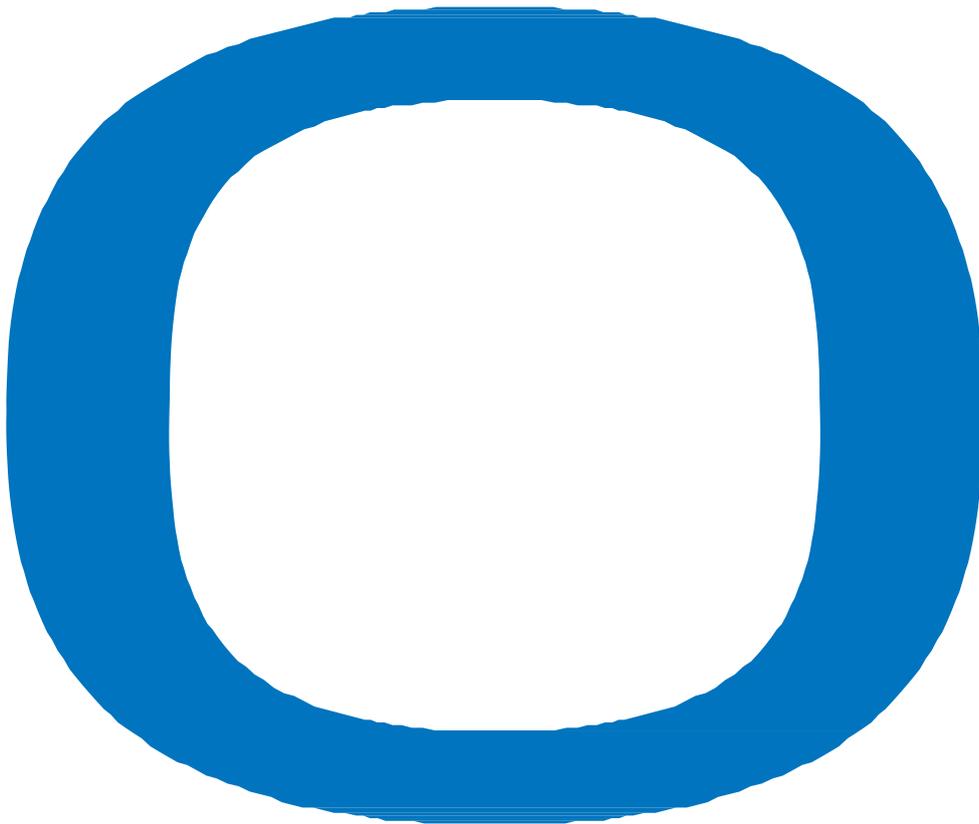


# SYMBOL MARK | シンボルマーク

「ローチケの口」をシンボリックに表現したマークです。口の形の形ば、歓声を上げる人の口、クワクワや感動を届ける舞台・会場の形そのものと捉えることもでき、その見立てのしやすさから口の中にイラストを描き込むなどの活用も可能。エンタテインメントにふさわしい柔軟さを併せ持った、自由度の高いシンボルマークです。将来的にはこのシンボルマークのみでブランドを想起させることを目標に、マニュアルに則って運用してください。



使用可能色



ブラック  
K: 100%



ブルー  
C: 91%、M: 44%、Y: 0%、K: 0% R: 0%、  
G: 116%、B: 190%  
DIC 183



ブラック  
K: 0%

ブランド形成において最も重要なステップがヴィジュアルアイデンティティの形成です。全部で4種類あるロゴタイプを、掲載スペースや周囲の環境といった状況を踏まえ、適切に使用してください。

メインとして、【和文+欧文:横1】を使用し、正方形・タテ型のスペースの場合サブ1【和文:縦】を使用。

メイン

和文+欧文:横1



サブ1

和文:縦



サブ2

和文+欧文:横2



サブ3

和文:横



ロゴタイプを目立つように表示するためには、その周囲に何も表示されない状態が効果的です。しかし実際には、ロゴを表示する周囲には他のさまざまな要素が表示される場合が多く、その中でロゴの独自性を保つためにロゴから他の要素を分離する基準を設定する必要があります。下記の基準を目安にロゴの独自性を保つように配慮してください。

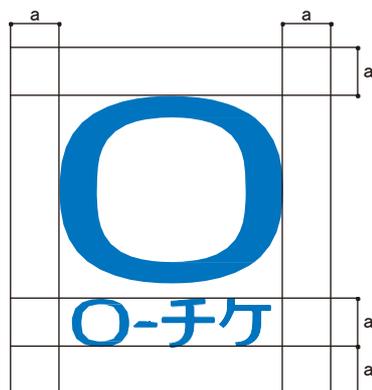
## メイン

和文+欧文: 横 1



## サブ1

和文: 縦



## サブ2

和文+欧文: 横 2



## サブ3

和文: 横



# MINIMUM SIZE | 最小使用サイズ

ロゴタイプを小さなサイズで使用する場合、つぶれなどが生じ、イメージを損なうことがあります。このため再現上の限界から最小サイズを定めています。

## メイン

和文+欧文: 横 1



## サブ1

和文: 縦



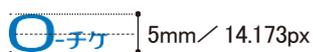
## サブ2

和文+欧文: 横 2



## サブ3

和文: 横



# COLOR | 展開色

表示色はブランドイメージを統一させる上で非常に重要な要素です。状況に応じて 視覚上よい効果が得られる色を使用していきます。

基本色:ブルー

C: 91% M: 44% Y: 0% K: 0%

R: 0% G:116% B:190%

DIC 183



※シンボルマークをたたせるためのフォーマットのため、シンボルマーク以外はK:100%で表示。



サブカラー:ブラック K:100%



# COLOR | 表示色と背景色の関係

ロゴタイプの表示色は、背景が明るい場合は、ブルーで表示することを基本とします。

使用を推奨する条件:

背景色の濃度の目安として、グレースケールに置き換えてK30%未満の濃度がある条件下での使用を推奨します。



背景色 K:0%



背景色 K:0%



背景色 K:10%



背景色 K:10%



背景色 K:20%



背景色 K:20%



背景がグラデーションや画像などにより、ブルー／白での表示が難しい場合に限り上記のように、背景に白をひいて表示することが可能です。白枠の最小サイズは、P04 独立性を参照ください。最大サイズの規定はありません。

その他背景色の特殊事例については、レギュレーションを保つ意味に於いて営業担当にご相談ください。

## COLOR | 表示色と背景色の関係

使用を推奨する条件:

背景色の濃度の目安として、グレースケールに置き換えてK30%以上の濃度がある条件下での使用を推奨します。



背景色 K: 40%



背景色 K: 40%



背景色 K: 60%



背景色 K: 60%



背景色 K: 80%



背景色 K: 80%



背景色 K: 100%



背景色 K: 100%

その他背景色の特殊事例については、レギュレーションを保つ意味に於いて、営業担当にご相談ください。

下記はローソンチケットのために設計した独自書体です。各種アプリケーション、サイン表記など、ブランドアイデンティティを担う書体として幅広く使用してきます。

A B C D E F G H I

J K L M N O P Q R

S T U V W X Y Z

# SAMPLES OF WRONG USE | 使用禁止例

シンボルマーク、ロゴタイプは正しく使用、再現された場合のみ、その機能を十分に発揮し、望ましいイメージを訴求することができます。  
本項に示した誤った表現例は、シンボルマーク、ロゴタイプの個性やインパクトを弱めたり、識別性を損ね、見る人に誤ったイメージを伝えてしまうことになるため、絶対に避けてください。



× 指定色以外の色を使用してはならない



× 和文ロゴタイプと欧文ロゴタイプの色を変えてはならない



× 変形させない



× フチをつけて表現してはならない



× アウトラインで表現してはならない



× 他の要素を加えない



× 指定のシグネチャ以外の位置や間隔で表示してはならない



× 書体から作成した文字をロゴとして使わない



× 文字間隔を調整しない



× 他の要素と接近させない



× 識別性を損なう背景の上においてはならない



× 独立性の範囲内に罫線などの囲みを入れてはならない

このマニュアルはローチケロゴのVIデザインシステムを正しく理解し、運用していくために作成したものです。  
特殊事例については、レギュレーションを保つ意味に於いて営業担当にご相談ください。